

葉隠塾長日記

金八先生も水戸黄門も見たことがなかった私ですが、ここ数年は家族の影響を受けテレビドラマを見るようになりました。先月までのお気に入りには、NHKの連続テレビ小説「カーネーション」。世界的なファッションデザイナーのコシノ三姉妹を育て、自らも同じ職で活躍された小篠綾子さんの生涯を実話に基づいて作られた、笑いと涙の子育て奮闘記でした。まだ着物が主流だった戦前から洋服を作り始め、モンペしか着られなかった戦争中や、生地が手に入りにくかった戦後も、知恵と工夫で女性にオシャレを楽しんでもらい、生きる元気を与え、92歳で亡くなる直前まで現役デザイナーとして洋服店を営んでいました。そして困り事を持ちかけられても何でも引き受け、夜を徹して仕事をしたり、結婚式や出産当日でさえ休まない働き通しの生き様を、ドラマの最終週、新聞記者からのインタビューを受けるシーンで次のようにおっしゃっておられました。

「ウチが何かをして成功したときは、必ず自分やうて相手のためを思っていたときなんです。欲かいて自分のためにしたときは全部失敗しました。それ見事に」…小篠さんは、聖書の言葉「与うるは受くるより幸いなり」を座右の銘としていたそうです。また「ギブ・アンド・テイク」ではなく見返りを求めない「ギブ・アンド・ギブ」が心も人生も豊かになる秘訣だと聞いたことがあります。ドラマを見ていてまさにそのとおりだと思いました。いただき過ぎの人生を送っている私ですが、小篠さんを見習って少しでもお返ししていきたいと思えます。

三浦光広

葉隠塾日々想々

佐藤正二(さとう しょうじ) 彦坂 訓(ひこさか さとる)

長かった寒い時期もようやく終わって、ポチポチ桜の話も出てきました。今も復興の真ん中でまだまだ大たね。この所、週末ごとに天候が崩れ、寒い中や雨の中でゴルフをやっていたが、これからは少し暖かい中でプレー出来るそうです。

さて、昨年の東日本大震災からもう一年が過ぎました。全国の市町村も、がれき処理の受け入れを検討し始め本格的な復興が行われそうですが、まだまだ先は長いですね。これからの機会あることに応援、支援していきたいと思っております。東北の方々、ぜひ頑張ってください。

青木文生(あおき ふみお) 水野晶教(みずの あきのり)

なかなか逆流性食道炎が治らず、毎日食道と背中違和感を感じています。先月初めて鼻から通す内視鏡をやりました。薬で医者とも話せるようになりました。寒かった冬で雪も多く、大変と聞いていましたが、確かに話せなくなりました。桜の花を見てみると、暖かくなった気候のお陰もあり、元気が出る気がします。これからの季節になりますので、楽しみました。

今月もお楽しみいただけましたか？
来月もよろしくお願ひします！



楠精工 株式会社

- ・社員数：40名
- ・ご提供できるもの：各種ダイホルダー及び治具・自動化装置 設計製作 (ダイホルダー部品、プレス部品、ハンマー部品、切断刃、中間ビーム他)
- ・スローガン：お客様の喜ぶことをしよう！
- ・住所：名古屋市熱田区三番町4-13
- ・連絡先：電話 052-651-7138 / Fax052-653-0020
- ・URL：<http://www.kusunoki-dieholder.com>